

宝満川浄化センターに行つて

川 口 万 葉

小 郡 市 立 大 原 小 学 校

宝満川浄化センターは、わたしたちが使つた水をきれいにし、川にもどすしせつです。今までわたしは使つた水が、どこへ行つていいのか考えたことがありませんでした。けれど、見学して、使つた水は地下にある下水道かんを通り宝満川浄化センターに行くことを知りました。

宝満川浄化センターはとても広くて、たくさんのごれた水が流れてきていました。

そこで、浄化センターの方から、「かつせい君」という生物が、水をきれいにしていることを聞きました。かつせい君は、生物はんのうそうという、よごれた水をためる所にいるそうです。わたしは、水をきれいにするには薬を使つていると思つていたけど、かつせい君という生き物がよごれを食べていることを知つて、とてもおどろきました。さい初は、茶色にごつていた水をかつせい君がきれいにすると、すき通つた色になつていて、すごい生き物だと思いました。

また、「水のじゅんかん」という言葉を知りました。わたしたちが使つた水は、浄化センターできれいにされ、川や海にもどされず。その水が雲になり、雨がふりダムにたまって、また、わたしたちが使う水になります。もし、浄化センターがなくなつたら、魚たちが生きていけないくらいよごれた水を川に流さないといけなくなり、わたしたちもきれいな水が使えなくなるかもしれないです。だから、浄化セン

ターは、わたしたちにとって、とても大切なしせつだと思いました。わたしは、お母さんに、「油はぜつたいに流さないでね。」と伝えました。わたしも、水の出しっぱなしやむだ使いをしないように気をつけようと思ひました。